

'09新春 パワーチェックミーティング



'09 CHAMPION

約450psで堂々の2連覇を達成!
はいぶーすとさん

448.0 PS / 67.0 kg-m



GT2835タービンやHKSエンジンなどパーツはほぼ変わりませんが、セッティング変更で大きく記録向上!



前回の大会では出場者中のトップ記録である381PSを叩き出したものの、惜しくも念願の400PSを越えられなかったが、今回はセッティングを凝らして448PSをマーク。もちろんこれは今回のトップ記録で、前回は満足しているそうです。

500ps目指してまだまだ
行きます! くり@大阪さん

2nd

422.0 PS / 54.7 kg-m



タービンはGT2835からGT3037へ! エンジンもHKSで2.2&化されています。これからセッティングを煮詰めるそうです。



前回は計測を行い、365PSを記録したくりさん。その時の仕様からはタービンを含め「総取替え」状態だそうですが、400PSの予測値を大きく上回る422PSの記録を達成。しかしその記録に飽き足らず、最終的には500PSを目指すとのこと。

牛井はパワーUPには効きませんか?
がるさん

3rd

386.4 PS / 54.5 kg-m



GT2835タービン、前置セインタークーラーのほか、ATを強化ATにしています。年末に計ったときは432PSだったので予想は432PSですが、結果は386PSとちょっと不本意なものに。計測前の牛井での腹ごしらえもパワーUPには結びつきませんでした(当たり前!?)



前回より100psアップ!
なるっちさん

4th 373.3 PS / 54.5 kg-m

2年前に一度参加しているなるっちさん。その時の記録は227PSですが、今回はタービンを交換し、インタークーラーも前置化。かなりチューニングが進んでいます。前回は前より100PSアップの377PSという凄まじい進化ぶりです。

パワーはこれで充分です
山本大介さん

5th

372.5 PS / 53.0 kg-m



一緒に走ることも多いボルシェ乗り道に勝つ! とのことです。クルマをトータルで仕上げている山本さん。パワー系はGT2530KAIにタービンを交換し、インタークーラーを前置化。2&のままながら372PSの記録を達成しましたが、パワーはこれで満足だそうです。

ノーマルECU&タービンでこの記録

R127さん

323.6 PS / 43.1 kg-m

今回、トップバッターも務めたR127さん。メニューはEVC4、HKSのフロントパイプなどライト派ですが、マルシェで選んでもらったというGDBエキマニ改がポイント。タービンはおろかECUも純正にもかかわらず、323PSという数値をマークしました。

6th



7th

309.7 PS / 44.1 kg-m

このパワーチェック大会にはいつも参加しているスナイデルさん。GDBタービンなどのハードウェアは変更無しですが、前回はブーストが1.1kg/cm²だったので、今年は1.2kg/cm²にアップしての記録です。しかし結果は予想より少し低い309PSでちょっと不満足。

ブーストUPで挑むも納得いかず
スナイデルさん

309.7 PS / 44.1 kg-m



次はVC交換でリベンジ!

Booby

SIクルーズさん

287.0 PS / 57.0 kg-m

仕様はGDBタービンにEVC4、エキマニにフロントパイプ交換といったパワーユーザーですが、インタークーラーはノーマル。記録は290PSと300PSにはちょっと届きませんでしたが、夏ごろ予定というインタークーラー交換後はマークできそうです。



ねんがんの300psを突破!
鬼屋さん

8th

306.9 PS / 47.0 kg-m



ブリッツのSUSパワーやHKSのフロントパイプなど、吸排気系の交換がメニュー。ECUはレーシングサービステPSで手を入れています。目標数値が299PSなのはなかなか300PSにとどかず、ひかえめに申告したからですが、今回はついに大台突破!

ついに400psの壁を越えようというBP/BLチューニングも新時代へ? パワーチェックは愛車の状態を知るために、とても効果的。しかし愛車の状態を知る、とひとくちにいっていろいろある。ノーマル状態のクルマが本場にカテログどおりのパワーが出ているか、調子のいい個体なのかということを知る文字通りの状況把握から、チューニングを行い、その効果や方向性を見定める積極的な目的まで様々だ。

SAB東雲のパワーチェック参加者もその参加目的は様々だが、大会が回を重ねるにつれ、チューニングを行う(その効果を確認する)人が増えていく傾向がある。

この背景には各ショップによるBP/BLチューニングノウハウの確立がここ2年くらいで大きく進んだことや、ユーザーの意識・趣向の変化があるのだろう。が、そんな理屈はまあとろあえず置いておいて、BP/BLは新型レガシイが登場した後もいじるベース車として独自の存在であり続けるだろう。まだまだBP/BLのチューニングシーンは熱くなっているように思う。

パワーを維持できていて良かった
千葉のtomoさん

10th

286.1 PS / 49.3 kg-m



ブーストコントローラーにEVC4、サイバーRのエキパイなどを装着し、セッティングはデルタボックス。前回(2年前)の数値は大体270~280PSでしたが、それから仕様変更もして変わらず、走行距離も5万kmに達しているため今回の数値には満足だそうです。